

【事業実績】写真やグラフ、報道された記事の引用、参加者の声の紹介など事業実施の具体像とその効果が分かりやすく伝わるよう構成してください。なお、参加者の反応や具体的な感想は必ず記載するようにしてください。また、本事業で作成した HP がありましたら URL も記載ください。

(1) ①民話伝承に関わる活動が盛んな地域での研修会 I

■日 時 令和元年7月17日（水）8：50～18：00

■会 場 山形県新庄市 旧矢作家住宅（国指定重要文化財）

■内 容 新庄民話の会の「伝承の語り部（祖父母等から生活の中で民話を伝えられた語り部）」の方々から、新庄の民話と、それを伝え聞いた際のように生活風景など、民話が生活に息づいて語られていた当時の貴重なお話を聞かせていただいた。合わせて地域の伝承活動について伺い、民話伝承の意義とこれからの伝承のあり方について考える機会とした。

■実演者 新庄民話の会 伝承の語り部4名

■参加者 25名 （利府民話の会・秋保語りの会・みやぎ民話の会・多賀城民話の会・丸森ざっと昔話の会各会有志、東北歴史博物館職員）



<会場の矢作家住宅>



<会長から活動紹介>



<伝承の語り部による語り>

【参加者アンケート結果】（23名中21名回答、感想は一部抜粋）

※満足度：五段階評価のうち、「大いに満足」の回答20名、無回答1名。

○すばらしかったし、4人とも伝承の語り手で、くらしの様子が目に浮かぶし、語りもおひとりおひとりの味がありおもしろく、また心に残りました。とくに「私にとって民話はしつけでした」という言葉におばあちゃんの思いが感じられました。

○暮らしの中で昔話はしつけになっていたこと等、本当に自分達もそうだったと思いました。又、大人になって理解・納得した覚えもあります。

○昔小さい時に祖父母から聞いたまさしく”伝承の語り“で、自分の話として自分の言葉で楽し

《※「語り部」と「語り手」の表記について》
所属する地域で「語り部」と称している場合を除いては、「語り手」の表記で統一した。

そうに語られていてよかった。どのような場で伝えられたかが目に浮かんだ。

○子供達や昔子供だった人達に民話の楽しさをもっと伝えて行きたい。学校訪問を再開したい。

○各会の語り部会を開いてみてはいかがでしょうか。

(1) ②民話伝承に関わる活動が盛んな地域での研修会Ⅱ

■日 時 令和元年9月26日(木) 7:50～18:00

■会 場 秋田県雄勝郡東成瀬村 地域交流センター「ゆるるん」

■内 容 東成瀬村昔っこの会の語り部の方々から、東成瀬の民話と、それを伝え聞いた際のように生活風景など、民話が生活に息づいて語られていた当時の貴重なお話を聞かせていただいた。また、参加する県内民話団体代表者も地域の民話と伝え聞いた際のように語り、民話伝承の意義とこれからの民話伝承のあり方について考える機会とした。

■実演者 東成瀬昔っこの会 会員3名(司会1)、伝承の語り部3名

■参加者 25名 (利府民話の会・秋保語りの会・みやぎ民話の会・多賀城民話の会・丸森ざっと昔話の会各会員有志、東北歴史博物館職員)



＜会長から活動紹介＞



＜伝承の語り部による語りと解説＞



＜参加した県内民話の会会員による語り＞

【参加者アンケート結果】(23名中23名回答、感想は一部抜粋、()内は口頭での感想)

※満足度：五段階評価のうち、「大いに満足」20名、「やや満足」2名、無回答1名

○それぞれの生い立ちの中で聞き乍ら暮らした様子がとっても良く、自分のふる里にも重ね乍ら楽しめました。

○地域に残っている話しや先輩の語りをしっかりと受けついでいる事を強く感じました。

○伝承の語り手も、そうでない方もとても自然で、風格のあるよい語りであられたように感じました。(※中略)さりげない語りでありながら、その背後にたしかな厚みを感じました。たぶんその厚みを支えているのは、たばこや養蚕で汗を流してこられたみなさんのくらしの厚みなのだと思います。ありがとうございました。

○（まだ伝承の語りを伝えている方がこんなにいらしたとは。各会の活動も興味深く、刺激になった。県内でもまだ知らない語り手、語りの伝承活動をしている会があるのではないかな。）
宮城県内の民話の会との交流会を開けたら良いかなと思います。

（１）新庄民話の会研修・交流会の受け入れ（※研修会を受けての派生事業）

- 日 時 令和元年 9 月 1 2 日（木） 1 3 : 0 0 ~ 1 5 : 0 0
- 会 場 東北歴史博物館 研修室
- 内 容 研修会 I をお願いした新庄民話の会より研修・交流会の申し出があり、実行委員会の利府民話の会が中心となって受け入れた。当日は両会会員が民話の語りを披露したほか、次世代（子どもたち）への民話伝承活動についてそれぞれ紹介し、意見交換を行った。
- 参加者 2 6 名（新庄民話の会会員、利府民話の会会員、みやぎ民話の会会員、東北歴史博物館職員）



＜研修・交流会のようす＞

（２）①こどもたちのための民話実演会 「民話にふれよう」

- 日 時 令和元年 1 0 月 1 2 日（土） 1 0 : 0 0 ~ 1 2 : 0 0、全 4 回（※ 8 回予定から縮小）
- 会 場 東北歴史博物館 3 階講堂
- 内 容 博物館のこども向け体験イベント「秋の見覚まるかじり博物館 2 0 1 9」内のプログラムとして、こども向け民話実演会「民話にふれよう」を実施し、地域の民話団体会員がこども向けの民話を語った。
- 実演者 利府民話の会会員、多賀城民話の会会員、（※小学生民話語り手←中止）



＜会場入口＞



＜実演会のようす＞

※当日は台風 1 9 号の影響で午後は休館となり、プログラムも小学校休校を受け小学生の民話語り

手による語りを中止、会場を変更し回数も半分として縮小して実施した。参加者も30名ほどと振るわなかったが、初めて民話に触れたが感動した、語り手体験に参加したいとの声も寄せられた。

(2) ②小学生の民話語り手体験教室 「民話を語ろう」

■実施日 令和元年10月27日(日)～11月17日(日)の毎週日曜日(全4回)

■会場 東北歴史博物館、岩手県遠野市(※③)

■内容 一般募集した小学生の民話語り手体験生が全4回の練習で東北地方に伝わる民話を覚え、語る体験をした。練習では、民話伝承がそうであったようにテキスト資料は一切使わず、口から耳へと民話を伝えることを重視した。最終回では一般来館者も入場可能な発表会で民話を披露した。また、第三回では民話のふるさと岩手県遠野市での交流・見学会も行った。(※③)

第一回 10月27日(日) 13:30～16:00 民話を感じよう

第二回 11月 3日(日) 13:30～16:00 民話をおぼえよう

第三回 11月10日(日) 8:00～18:00 民話のふるさとへ行こう

第四回 11月17日(日) 10:00～16:00 みんなの前で語ろう

■講師 利府民話の会会員4名

■参加者 17名(定員:15名、対象:県内小学校の1～6年生)

発表会来場者:84名



<練習風景①>



<練習風景②>



<発表会風景①>



<発表会風景②>



<体験生募集チラシ>

(2) ②他地域のこども語り手との交流会、現地見学会 「民話のふるさとに行こう」

■日 時 令和元年11月10日(日) 8:00~18:00 (※(2)②第三回として実施)

■会 場 岩手県遠野市 かつば淵、遠野ふるさと村、続石

■内 容 小学生の民話語り手体験生とともに岩手県遠野市を訪れ、体験でも取り上げる民話が生まれた土地の風景に接した。見学会では、利府民話の会会員や現地施設のスタッフによる民話や昔話の解説のもと「かつば淵」や「続石」を見学し、民話の風景と現実とのつながりを実感する機会とした。また、現地で民話を学ぶ小学生の語り部と、その指導にあたっている遠野昔話の会会員に民話語りを依頼し、同世代のこども達が地域の民話を受け継いでいる姿に接した。

■実演者 遠野昔話語り部の会語り部1名、遠野市立附馬牛小学校の語り部2名

■参加者 38名 (②「民話を語ろう」体験生、体験生保護者、利府民話の会会員、東北歴史博物館職員)



<かつば淵見学>



<伝承園スタッフによる解説>



<遠野の語り部による民話語り>



<続石見学>

【(2) ②③体験生の感想】(※講師への手紙から一部抜粋)

〇きんちょうしたけど、たのしいなかがいたので、とてもたのしかったです。あと4年あるの

で、6年生までやりたいと思います。(2年生)

○…先生たちとグループの子たちといっしょに練習をし、自分で選んで自分で考えて、自分で練習をし、自分でそうぞう力を広げて話し、自分の意見を届けるのにもいい練習になって良かったです！(4年生)

○…私は、先生の話聞いて民話にきょうみをもつようになりました。最後の発表はきんちょうもしたけどいい会になったと思います。来年もさんかしたいです。その時は、よろしくおねがいします。先生は民話小さいころからきいている話をきいてかんしんをもっておぼえました。…(4年生)

○…友達にもたくさん語ってあげてます。なんのはんのうもなしに聞く子や、うなずきながら聞く子や聞いてくれない子もいました。妹に語ることもあります。ねそうなときにかたってあげると、すぐにねてしまいました(笑)。来年、また来年もよろしくおねがいします。(4年生)

○…カップつりこんかいわかまれてあとがあつてうれしかったです。そしてとうのの人からの民話をきいた。すごくうまくてびっくりしました。…(5年生)

○…アドバイスもていねいで、「かんぶくろ」も上手に笑って演じて、よかったなと思います。来年入ってくる新しい子にも、民話と言う、すばらしい、話を教えて頂きたいです。(6年生)

【(2) ②③保護者アンケート結果】(13家庭中12名回答、感想は一部抜粋)

※満足度：五段階評価のうち、12家庭全員が「大いに満足」と回答

○はじめは台本やテーブルコーダーがあつたらいいのと思っていました。本番もカンペが必要だと思っていました。4回では覚えられないだろうと思っていたからです。でも先生の表情などからいろいろな事をくみとり、自分の頭の中で想像するということはとても貴重な体験だったと思います。遠野に行くことができ、「かっぱ」や「ざしきわらし」というものに触れ、世界観が広がったと思います。「来年も…6年生までやりたい」と申しております。(2年生保護者)

○〔他の習い事は〕「自分でやりたい」と言っではじめたのに、どうしてもやる気があまり感じられません。しかし、民話は1回目終了後から、「また来週あるの？楽しみ！」と行けるのが嬉しくてしょうがないといった様子。きっと先生方の親切で優しい声がけのおかげだと思います。遠野見学会も子どもらしく「カっぱ」の存在を信じたり(インターネットでかっぱが本当にいるのか調べたりもしていました)、地元の子の民話をしんけんに聞いていました。(4年生保護者)

○毎日家でゲームばかりをし、宿題の本読みもせずぐうたらな息子に民話がきっかけで物語を好きになれば(本に興味わく?)という思いで勝手に申込をし、後で本人に伝えおこられました…。嫌々ながら参加しましたが、1回目より「思ったより良かった」と好評で毎回、きちんと参加してくれました。〔発表会は〕本人も満足したようです。(4年生保護者)

○親子でとても素晴らしい体験をすることができました。短い期間で台本のない民話を語るという事は、大人でも難しいと思います。それをやってのけた子供たちは、本当にすごいです。こういった体験は自信に繋がることですね。絵本を読み聞かせる事はあっても、民話のように素話で物語を聞かせることはあまりないので、私も勉強になりました。(5年生保護者)

○とても良い経験を、母子ともさせて頂きました。語り部の方々の話し方がとても優しくて、日常に追われる中でとても良いやしとなりました。子どもだけでなく大人も語り部に挑戦したくなりました。子どもにとっても良い経験だったようで、他の子の話も覚えていましたし、図書館で一週間に一冊、本を借りさせているのですが、自ら日本の昔ばなしを借りて楽しそうに読んで「この話知ってる？」と聞いてくるので、良い刺激になったと思います。これからもぜひ続けていってほしいと思います。(5年生保護者)

○友達から誘われるまで、「民話を語ろう」の存在も知らなかったし歴史博物館に行くこともあ

りませんでした。最初に聞いたとき、毎週日曜日に通うのは大変だし、遠野に行くのも、とても遠いし心配に感じました。でも初めて博物館を見てすてきな所だなあと思ったし、民話を聞いて覚えるのも、とても良い経験になると思いました。〔発表会では〕慣れない方言をつかって民話を聞かせてくれた子供たちがかわいかったです。（3、6年生保護者）

○新しい話を覚えたり、いくつの話を語れるかなど練習会の帰りの車内は2人の発表会になり、競うように語ってくれ、充実した時間だったことがうかがえました。・・・昨年生まれた妹に、寝る前に聞かせるために語ってくれたり、退屈しているクラスメイトに語ったりと、事あるごとに語っているようです。（4、6年生保護者）

（3）①②③「次世代への民話伝承について考える」実演会・講演会 「民話が語られた風景」

■日 時 令和2年1月19日（日）13：00～16：00

■会 場 東北歴史博物館 講堂

■内 容 東北地方の大人と子どもの語り手による民話実演会を二部構成で実施した。①第一部は「こどもが語る民話」と題し、(2)②の小学生の民話語り手体験について講師が活動を紹介した後、体験修了生の代表4名が民話を披露した。②③第二部では「民話が語られた風景」と題し、宮城、山形、岩手3県の民話を伝える語り手5名が、地域の民話とそれを伝え聞いた当時のようすや生活背景等について語った。実演にあたっては宮城民話の会顧問の小野和子氏を「聞き手」に迎え、語りの引き出しと解説をいただいた。

■実演者 「民話を語ろう」体験修了生代表4名、新庄民話の会会員2名、丸森ざっと昔話の会会員1名、秋保語りの会会員1名、利府民話の会会員1名（※岩手の民話）

■講 師 （実演会聞き手）みやぎ民話の会顧問 小野 和子 氏

■来場者 231名



＜第一部のようす＞



＜第二部のようす＞



＜実演会チラシ＞

【(3) アンケート結果】(231名中102名回答、感想は一部抜粋)

※満足度：五段階評価のうち「大いに満足」73名、「やや満足」1名、「普通」1名、「不満」1名、無回答14名

- 民話を語る風景が良く分かって良かったです。私達に映った日本の風景が各語り手の話から見える様で心に残りました。
- 子ども達の語りはとてもかわいくてほほえましく、それでいてよく覚えて壇上で語ってくれたと感じました。大人の語りは、語られた風景を聞くと民話と昔の人々の暮らしの温かさを感じとても良かったです。是非来年も来たいなあ
- 子供達の昔話とても良かったです。4回でおぼえたなんてとてもすばらしいです。その内に、我が民話の会でも後継者作りに行いたいと思いました。
- 語りつぐ事の大事さ、最後のつなみの話でよくわかりました。
- 民話初めて聞いたけど、楽しかった。訓話のような話の中に入ってる事がわかった。
- 子供達の語りには味がありました。記録することなく自分の耳と心で語り部の話を聞き取るというのがいかに大事か！昔話を実際に聞いて育った人達の語りは実に味わい深いもの…。背景風景を知って聞く話は一段も二段も深く入ってきました。
- 子ども達の語りとても素晴らしかったと思います。私達の会でも子ども達に伝承して行きたいと考えております。参考になりました。ありがとうございます。
- とてもわかりやすく話していただき、感動しました。はじめて、こんなにすばらしい話をききました。これから、この体験をみんなに伝えようと思います。ありがとうございました。
- 語り手の皆さんの昔話とのいわれを伺い、民話の世界が何倍にも広がりました。何度も昔話を聞きましたが今日は今までにないいい会に来られて良かったです。子供達の語りも素敵でした。
- 小学生のお子さんたちは、聞いて覚えたど、長いのをよく覚えてらして、感心しました。語り手さんたちのご家庭の背景が見えました。東北の方々は、津波と隣合せに生きておられることに感じ入りました。
- 又是是非企画をして下さい。待ってます。語られてきた民話とその土地によって又ふくらんで語られている事に感動しました。
- ひとつの昔話をかたるのに、どういう場所でだれからきいた話かということがすごく1つの話をふかくしていました。とてもすばらしい話ばかりでした。
- 語られた話は冊子にしてミュージアムショップでも売ってください。歴博を訪れた学生さん子供さん他にも手に取ってもらいたいです。
- 次の世代へ語りつぐためにも子供達への民話を聞かせる場を沢山作っていければと思います。
- もっと多く時間があつたら聞きたかったです。大変勉強になりました。
- 楽しい話、ためになる話、お子さんの4話、そして10話も、とてもぜいたくな時間をありがとうございました。ずっと続けていただきたいです。
- 民話は、生きる為の「教え」なのかと思いました。日々の中でゆったりとした気持ちで子ども達に伝えることができたなら素敵だと思いました。先生方、すてきな話ありがとうございました。
- とてもなつかしく、子供にかえり、たのしかったです。小さい時に、おばあちゃんに昔ばなし、良くきかせてもらいました。又、年に一度ほど山の薬屋さんが家にやってきて薬を売っていました。その頃の事をなつかしく思い出しました。私は85才です。
- 語り手と聞き手のリレーがおもしろかったです。一合掌
- 入念な準備をされ、非常に感動的な時間をいただき、心の中も久しぶりにぬくくなりました。

ありがとうございました。帰宅したら民話の本を開けてみるつもりです。又、このような機会があれば参加させてください。

○民話が語られた風景とか、よく話され、とてもおもしろくきくことができました。それぞれの方々の語り、すばらしくまだまだききたかったです。小野先生の進行が、とても思いを感じさせられました。

○題の「民話が語られた風景」とは？と参加しました。小野さんが、その話を引き出す方法がすばらしい。5人の語りは、よく語られる話ですが、少しずつ違うのが面白い。